

デートDV って知ってますか？

寺島 瞳（保健管理センター学生相談室 人間総合科学研究科 助教）

ドラマ「ラスト・フレンズ」

昨年の春に「ラスト・フレンズ」というドラマが放映されていました。随分と話題になっていたのでご覧になっていた方も多いのではないのでしょうか。20代前半くらいの若者たちが共同生活を通してさまざまな悩みを乗り越えていくという内容でした。その中で特に、長澤まさみさん演じる美知留が彼氏の宗佑からひどい暴力を受ける場面が大変衝撃的でした。過激な内容をドラマとして放映することに賛否両論あったかと思いますが、デートDVという現象を良く捉えている場面もありました。

デートDVとは

ドメスティック・バイオレンス（DV）という言葉は聞いたことがあるでしょう。夫婦間などの親密な間柄で起きる身体や心への暴力のことです。大学生などの若いカップル間でも同じ現象が起きており、デートDVと言われて注目されています。デートDVにあてはまる行動として、以下のようなものがあげられます。

- ・身体的暴力…つかむ、つねる、たたく、殴る、蹴る、突き飛ばす、刃物で脅す、など。
- ・心理的暴力…バカにする、傷つくことを言う、無視する、怒鳴る、にらむ、脅す、など。
- ・行動の制限…携帯をチェック、服装や行動の指示、友人関係を制限して孤立させる、など。
- ・性的暴力…無理やり性行為をする、避妊に協力しない、など。
- ・経済的暴力…無理やり物を買わせる、など。

以上のように、DVにあてはまるのは激しい身体的暴力だけとは限りません。

デートDVの特徴

実態調査によると、10歳代～20歳代では、女性13.5%、男性5.2%で交際相手から何らかの被害を受けていました（男女共同参画白書、2006）。よって、男性も被害を受けますし、比較的身近な問題であると言えます。

特に、DVに特徴的なこととして「逃げられない」ことがあります。「ラスト・フレンズ」でも、一旦は逃げたにもかかわらず、美知留が宗佑のもとに帰ってしまうことが何度かありました。「なぜ帰るのか？」と不思議に思われたかもしれませんが、心理的な支配関係ができているために「逃げない」のではなく「逃げられない」のです。DVを受けている方が「私（僕）も悪いから…」と言うことがありますが、被害を受けた側に非はないことを良く覚えておいてください。

デートDVが身近で起きたら

まず、友人がデートDVの被害を受けていると感じたら、良く話を聞いてあげてください。また、自分が被害者・加害者になっていると感じたら、周りの友人に相談してみてください。相談する方がいなければ、学生相談室へ来てください。秘密は厳守します。また、以下の文献も参考にすると良いでしょう。デートDVはエスカレートしていくので、早めに解決するべき深刻な問題です。

*山口のり子著『デートDV防止プログラム実施者向けワークブック—相手を尊重する関係をつくるために—』梨の木舎、2003



ひとりで悩まず 保健管理センターへ

保健管理センター受付 029(853)2410

学生相談室受付 029(853)2415